



# 聖欽会報

発行所  
北海道立農業大学校  
同窓会

中川郡本別町西仙美里25-1  
電話 0156-24-2122  
編集事務局

## 就任にあたって



北海道立農業大学校同窓会

会長 津島 朗

今年もいよいよ残りわずかとなってしまいました。同窓会の皆様方におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会の活動に御理解・後協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

このたびの総会において、同窓会長を務めさせていただくことになりました津島と申します。役員、学校関係者の皆様の御助力をいただきながら、大任を果たしたいと考えております。どうぞよろしく願います。

近年の農業情勢を振り返ると、G A T Tに始まり、W T OそしてT P Pと、常に「世界ルール」という大義名分に、日本の農業政策が振り回されて来まし

た。本来、食糧を生産していることは、国の安全の根幹に関わることですが、このことに対する国民の理解の低さが、二転三転する政策の原因なのだと思います。我々農業者が希望をもてる政策の実現には、農業の重要性を深く広く理解してもらうことが必要です。

さて、同窓会の皆様方は、高い意欲を持ち、農大を卒業後、各地域で活躍されています。同窓会も同窓会員、農業大学の発展に少しでも寄与できる会でありたいものだと感じています。

今後とも、会員の皆様の御指導、御

## 期別世話役

〈農講〉2 鈴木一義 / 5 菅谷誠・渡辺善信 / 7 大沢義一 / 8 植田博 / 9 森田洋三 / 10 森山睦美 / 11 大平清吉 / 13 辺見政孝 / 16 小南和夫 / 17 佐川満 / 18 吉田甫 / 19 西山利昭 / 20 河田裕 / 21 相沢勲 / 22 石川眞清 / 23 松崎文一 / 25 仲鉢昭夫 / 27 芳澤改治

〈農大〉1 川本秀二 / 2 和田嘉晴 / 3 塩村昭博 / 4 石丸博雄 / 5 高井正行 / 6 道下貞夫 / 7 笹島喜郎 / 8 岩井敦史 / 9 井出和実 / 10 富山和也 / 11 石原英之 / 12 森本耕二 / 13 宮本茂行 / 14 牧村康弘 / 15 小松洋一 / 16 遠山昇治 / 17 田村直樹 / 18 大谷晋二 / 19 近藤大樹 / 20 三田浩司 / 21 佐藤昭徳 / 22 熊谷直哉 / 23 田中真理子 / 24 塚田秀則 / 25 齋藤かおり / 26 日光純一・渡邊基樹 / 27 柏葉宏樹・嶋貫一也 / 28 鈴木隆也・中澤光太郎 / 29 今西大和・今野大吾 / 30 山木秀幸・佐藤貴文 / 31 中澤好喜・幕田桂一 / 32 黒川昌毅・若木章宏 / 33 廣瀬正幸・下田奨 / 34 毛房智幸・原田宏幸 / 35 谷川和樹・那賀島充人 / 36 大友詠吉・喜多真悟

〈農大稲作〉1 吉田和浩 / 2 大江博之 / 3 穴戸聖 / 4 平塚美明 / 5 水嶋淳・伊藤優治 / 6 石川英樹 / 7 嶋田雅虎 / 8 泊り雅幸 / 9 石崎憲一 / 10 富樫孝 / 11 岡村博信 / 12 平隆之介 / 13 吉見拓也 / 14 吉村正之 / 15 森勇貴 / 16 石川大輔 / 17 竹内誠 / 18 國岡晃平 / 19 中山義之 / 20 外山隆祥 / 21 下道達也 / 22 黒田直樹 / 23 久保田和伸 / 24 佐々木智彦

〈農大研究〉1 内野康晴 / 2 加藤幸嗣 / 3 木村晴美 / 4 山岸淳 / 5 中西崇継 / 6 今西大和 / 7 仁井邦夫 / 8 鈴木健司 / 9 佐藤直哉 / 10 富永浩貴 / 11 上村優太

### 農大トピックス その1 調理師専門学校との交流会を開催

十一月七日に帯広市の帯広調理師専門学校で同専門学校と農大の合同による「秋の収穫・調理交流会」がはじめて開催されました。

交流会には、畑作園芸経営学科二年の二十七名と調理師専門学校生の三十八名が参加しました。前半は農大生がピザとスープ作りに挑戦。たまねぎやチーズ、ソーセージなど、農大産の野菜、加工品を調理師専門学校で調理し、遠藤珠子校長に教わりながら切り、スープにしたり、事前に発酵させておい



たピザ生地を載せて焼き上げ、両校の学生で試食しました。後半は両校の学校紹介や、クイズ大会、意見交換会で学生同士の交流を深めました。生産者と調理師、消費者に健康とおいしさを届ける仕事を目指す者同士、お互いに理解を深めた一日となりました。



# 震災からの復興



北海道立農業大学校

校長 鞍懸 周

寒さが日一日と増し、冬本番を迎えようとしています。同窓会の皆様にはお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の運営に多くのご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年、三月十一日の東日本大震災で、東北地方の太平洋側を中心に多くの死者・行方不明者が出るとともに、生活も産業も甚大な被害を受けました。日頃から交流の盛んな東日本ブロックの農業大学校においても、岩手、宮城、福島の三県の農業大学校で、学生や職員への直接の被害はなかったものの、家族や家屋などへの被害が及んだ例もあると聞いています。

三校とも、入学式が一週間前後遅れて開催されたり、使えなくなった施設があったり、農場の作業が遅れたりなどの障害もあつたようですが、関係者のご努力により、現在ではほぼ正常に運営されています。

来年一月には、本校で東日本ブロック農業大学校のプロジェクト発表会を開催の予定ですが、被災された三校と

も北海道での発表会に向けて意欲的に準備に取り組んでおり、元気な発表と学生の交流に期待しています。これまでのところ、本校は例年通り行事が行われており、学生もめざましく成長しています。春には強歩大会、夏にはお客様をお迎えして農大祭も元氣に行われ、秋の農大市でも、大勢のお客様にたくさん農畜産物を買って頂きました。

作物の作柄は、昨年ほどひどくはないものの、雨や風による若干の被害がありました。雨や風による若干の被害が、学生を中心とした臨機応変な対応で、無事収穫作業を終えました。

また、今年度は同窓会長の異動があり、若井和博前会長には、二期六年間にわたり大変お世話になったこと心から感謝申し上げます。後任の音更町の津島朗会長には、今後、本校の運営に当たってご指導をよろしくお願い申し上げます。

同窓会の皆様には、今後とも変わらぬ暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 第十二回総会開催!! 新会長に津島氏(6期)を選出

去る、平成二十三年二月五日(土)

に北海道立農業大学校にて三年に一度の総会が開催されました。総会には二十名が出席し、平成二十二年年度の事業経過及び決算決算が報告され、平成二十三〜二十五年度の事業計画及び予算が承認されました。

また、役員改選が行われ、農大六期の津島朗氏(音更町)が新会長に選出されました。

また、夜は本別温泉グランドホテルにて懇親会が行われ、三十二名の同窓会員が旧交を温めました。

出席された会員の皆様、本当にお疲れ様でした。三年後の総会でまたお会いしましょう。

### 役員体制

会長 津島 朗 農大六期(十勝支部)  
副会長 田野 敏規 農大六期(十勝支部)  
青木 伸 農大六期(網走支部)

鈴木 一義 農大二期(根室支部)  
小倉 清爾 農大十一期(石狩支部)

川本 秀二 農大二期(十勝支部)  
府川 正志 農大七期(十勝支部)

松田 修人 農大八期(釧路・白糠支部)  
相沢 博美 農大七期(十勝支部)

平成二十三〜二十五年度事業計画

1 聖鑑会報の発行(年一回)

2 東日本農業大学校等協議会・同窓会連盟総会への出席

3 全国農業大学校同窓会会長会議への出席

4 第十三回総会の開催

5 ホームページを通じた交流促進

6 支部及び期別活動の促進

7 新入会員(卒業生)への記念品贈呈





# 農大の一年

## 一月 冬季体育大会

一月二十一日、冬季体育大会が行われました。当日は寒いながらも好天に恵まれ、学生達は雪上雪合戦とフットサルを楽しみました。どちらの種目も熱戦が繰り広げられ、冬場の良い運動不足解消になりました。



三月 卒業式  
三月十一日に卒業式が行われ、畜産経営学科二十四名、畑作経営園芸学科三十三名、稲作経営専攻コース九名、農業経営研究科十一名が、それぞれ本校を卒業、修了しました。

四月 入校式  
四月七日に入校式が行われ、畜産経営学科三十一名、畑作園芸経営学科三十二名、稲作経営専攻コース十名、農業経営研究科八名が入校しました。

五月 強歩大会  
五月二十七日、強歩大会が行われました。今年も天候に恵まれ、学生達は三十二キロの道のりを走り通したり、休み休み歩いたり、それぞれのペースでゴールを目指しました。

七月 農大祭  
農大最大のイベント農大祭。一日目

の七月二日は体育大会で幕を開けました。学生達は、リレーや牧草ロール転がし、タイヤ取り等の競技で、日頃の実習で鍛えた体力を発揮しました。クラス対抗というところもあり、どの競技も熱戦が繰り広げられました。

夜は体育館を会場に前夜祭が行われ、各クラスのステージパフォーマンス、腕相撲大会の予選、カラオケ大会などで大きな盛り上がりを見せました。

二日目の本祭では、校庭に各クラスやクラブによる模擬店が並び、かき氷やたこ焼きなどが販売されました。また、恒例の焼肉店「農大園」では、多くの来場客が農大牛に舌鼓を打っていました。ステージでは、早食い大会や、腕相撲大会の決勝戦、女装コンテストが行われ、本祭を盛り上げました。

夜の後夜祭では、昼間に引き続きバンド演奏が会場を盛り上げ、締めめの打ち上げ花火で農大祭は感動的なフィナーレを迎えました。

十月 農大市  
十月二十二日、農大市が開催されました。学生がこれまで手塩にかけて育てた野菜や畑作物、牛肉、加工品を販売しました。今年も早朝から多くの町民が押し寄せ、用意したほとんどの品物が完売しました。



## 農大トピックス その2 農大の飼養牛が乳量二万キロ達成

本年の四月、農業大学校で飼養する乳牛が農大ではじめて年間採乳量二万キロを達成しました。

二万キロを達成したのは当時四歳二ヶ月の「センピリヒル ロイヤル タツカツアラール」で、二産目を終えた昨年三月からの三六五日で乳量二万五キロの大台を達成しました。

農大では通常六十頭前後の乳牛を飼養しており、給餌、除糞、搾乳など日常の管理を学生が交代で行っています。学生達は日頃から乳牛の体調を細やかに観察し、基本技術に忠実な飼養管理を心がけることにより、農大の高い乳量水準を維持してきました。今回の記録はこれまでの学生達の努力の結晶と言えるでしょう。



農場長を務める花木善彦君（畜産経営学科2年）は「これからも勉強を続けてこの経験を将来の経営に役立てたい。」と記録達成の感想を語っています。この出来事はきつと学生達の将来の自信につながることでしよう。

## 同窓生の広場

### 就農から七年が経ち



畑作園芸経営学科 三十期生

本山 忠寛

(美瑛町)

卒業してから一番最初に結婚をした私は、人数の都合上一部の同級生しか招待することができずにいたのですが、結婚式が終わって会場を後にすると、同級生のほぼ全員が遠方から駆けつけてくれて、胴上げをしてくれました。あの時の感動は未だに忘れません。同級生のみんな、本当にありがとう。今でも、誰かの結婚式の度にちよつとした同窓会のような感じでみんなと顔を合わせるのを楽しみにしています。

さて、就農してから七年が経ち私は農大で学んだことを生かし、毎年のようにプロジェクトや4日クラブの活動に力を注いでいます。その中で多くの農業人たちとの出会いがあり、たくさんの刺激を受け、農業に大きな夢を持って日々の営農に取り組んでいます。農業のおかれています情勢は依然として厳しい状況が続いておりますが、人々が生きていくために食べる食料を作り続けるという使命感を持ち、自分のためだけでなく多くの人を喜ばせることができる農家を目指して頑張っていきたいと思えます。



卒業して就農して

そしてこれからへ

畜産経営学科 三十一期生

村田 優貴 (雄武町)

物心ついたときから酪農というものに触れていて、最初の頃は遊びがてら次第に少しずつ仕事を手伝うようになり、今では後継ぎとして本格的に酪農に従事するようになりました。

小さな時はいろいろな職業を夢見ていましたが、家を継ぐことも何となく幼少の頃から思い描いていました。

それが今でははつきりと、いえ、現実のものとなって一つ一つを噛みしめながら日々を過ごしています。

農業大学校に入学した最初の頃は酪農の専門的知識を学ぶとあって、まったく違う環境になるのかと少々不安もあつたのを覚えています。でもいざ入ってみれば授業こそ今までと違うものの、普段と変わりなく充実した学生生活を送れたと思います。

そのとき友情を育んだ同期達もみな様々な仕事に就き時間は多くとれないものの、同じ酪農関連やプライベートを通して親交を図っています。

いざ自宅に戻り就農して仕事をしていく中で、また新しい発見をすることも多くあります。就農して早くも六年が過ぎましたが、未だに学ぶ事は尽きないものです。すべてがあらゆる面から自分の思い通りにいかないものだと改めて思い知らされる日々の連続です。

それでも、苦ではないのです。自分でも不思議なものです。心の底から

苦だと思ったことはありません。自分の将来を見据えればと思えば納得していかねばならない覚悟とやるものがあるからなのかもしれません。いずれ経営はリーストールの導入を前提としたスタイルへとならなければならぬかもしれません。自分もまだ先のことだと思っはいますが、もしそうするとしたらこれからの時代の流れにもよるので、簡潔ではあります。家族でも無理のない体制でできる経営を目指していきたいと思ひます。

まだまだ頑張っ

酪農経営学科 九期生

五十嵐 政敏 (白糠町)

同窓生のみなさん、いかがが過ぎでしょうか？今年も残り少なくなり、収支が気になる時期になりました。

私は息子も農大を卒業し、昨年後継者として、酪農経営に参加しています。二十七年も前私もそうでしたが、農大で学んだ知識や技術は就農してすぐ役立つもの、それに経験が加わるとより一層役立つものが有る事と思ひます。

技術や情報は二十七年前から比べると量もスピードも格段に多く早くなりました。酪農経営をする上で、それらを生かすための判断も早くなったように思ひます。酪農家の飼養頭数は年々増加し、労働力の不足や、後継者不足は深刻な問題だと思ひます。それらのサポート体制構築をこれからしていきたいものです。

農業情勢も良いとは言えませんが、息子も含め若いこれからの農業者が少

しでも多くなるよう、経営内容の向上と夢がもてる酪農環境の整備を仲間達として行きたいと思ひます。

新しい仲間

私は今



畜産経営学科 三十六期生

大友 詠吉 (芽室町)

皆さん、私のことを覚えていてますか？そうです。大友です。農大三十六期生の方々で就農した方、就職した方それぞれの道を進んでいることと思ひますが、お元気でしょうか。私は実家に戻り、毎日元気にやっています。地域の青年会にも入り、プロジェクト活動やイベントに積極的に参加しています。時には夜遊びを学びながら充実した日々を過ごしています。

今になって、農大での生活を思い出してみると楽しかったことしか頭に浮かんできません。勉強や実習がつかつたときもありましたが、仲間と一緒に力を合わせて乗り越えてきました。その時に得た知識、技術は今の私の力になっていきます。三月十一日、東日本大震災が発生した日に私達三十六期生は卒業しましたね。それからというもの、震災被害や福島原発の事故、T

PP参加への動きなど多くの問題が日本を苦しめています。このようになってしまった原因は人間にあります。人間が起こした問題は人間が解決するべきです。今年から私も農家、社会人の一員になりましたので、被災地の方々のためにも毎日毎日仕事を頑張っています。卒業・就農して

卒業・就農して



畑作園芸経営学科 三十六期生

喜多 真悟 (美幌町)

三十六期生の皆さん、元気に過ごしていますか？特に畑園のみんな、もう卒業してから半年以上の月日が経ちましたね。今年の農作業もそろそろ終わりに近づいているのではないのでしょうか。

今年の春農大を卒業し就農一年目はどんな感じでしたか？私は就農してからは仕事をしていると何か物足りなくとも寂しい気持ちになりました。農大生活が昨日の事のように毎日思い出します。振り返ると一瞬で二年間が過ぎましたが、とても一日一日が充実し楽しい日々でした。プロジェクト実践では、農業の基礎知識や実践的な技術を多く身に付け同じ夢を持つ仲間と共に仕事をし、助け合いの心など様々な多くのことを学ぶことができたと思ひます。意気込んで迎えた就農一年目は、や



はあり思ったように上手くないかなのが現実でした。ひたすらがむしゃらに仕事をするのが精一杯。でも、毎日が農大の延長戦で勉強でした。今年は農業ではなく、運送業の方を優先に仕事をしていたのではないかと自分なりに思います。なので来年の目標はしっかりと農業をやっていくことです。

今後はしっかりとプロジェクトでやったことを取り入れられるように冬の間に計画を立てて早く自家に導入し、父から経営を受け継いだ後にはちゃんとした経営方針を持ち、経営の安定化を目指していきたいと思えます。

農大で過ごした二年間は私にとって最高の思い出です。この思い出をさらに価値のあるものにするため、これから農大で出会った人生の友と何十年も共に切磋琢磨をしながらこれからの日本の農業を支えていけるような農業者になれるように頑張ります!!

畑園の皆さんお互いに農作業事故と車の運転だけは気をつけて来年も頑張りますよ。



稲作経営専攻コース  
二十四期生  
佐々木 智彦  
(妹背牛町)

私が本校を卒業してまだ、半年と少ししか経っていませんが、委託生として通っていた拓殖短大での思い出や、実習で学んだことは決して忘れること

はありません。  
私は主に深川の拓殖短大で講義を受け、同じ志を持った仲間と苦楽を共にしました。

稲作経営専攻コースでは、年に二回、九名で農大での集中講義を通して、農業簿記の基礎を約二週間という短い期間で学びました。農大、拓大で学んだ二年間は私の中で、とても大きな糧となりました。その大きな経験を活かして、将来の農業経営を計画していく、立派な農業経営者になりたいです。

現在は、夏から麦、米穀の出荷施設でアルバイトをしています。この社会経験を通して、各生産者との関わりを深いものにでき、すごく良い勉強となっておりす。

最後になりますが、現在農大で勉学に励んでいる学生のみなさん、一日一日を大切に、一つの小さな努力も怠ることのないような日常生活を送って下さい。

そうすればきっと、将来農業経営する際、自分にとって大きな力となるはずです。とにかく今を頑張ってください。



農業経営研究科  
十一期生  
上村 優太  
(鹿追町)

就農して

農大の皆さん、同期の皆さんいかがお過ごしでしょうか？四年間という農大での学生生活から卒業してはやくも

半年以上が経とうとしています。農大での四年間はあっという間で、思い返してみると、とても楽しい思い出ばかりでした。

研究科の総合実習Iでは、豚の繁殖を学び、多くの基礎知識を学ぶ事ができました。その中には、人工授精や自然交配などの今まで知らなかった事もありました。この事から、自家の経営改善に向けて、どの様な改善方法があるか考える事ができました。

その成果を自家で活かそうとした就農一年目でしたが、思うようにいかない一年目でもありました。研究科で学んだ放牧養豚は、自分で実行できる時期を見きわめて、実行していきたいと思っております。

今後は、一年、二年と経験を重ね、自家の経営改善に向けて努力し、経営の安定化を図りたいです。また、新しいことにも挑戦し、今後出会う人との様々な繋がりを大切に、農家生活を楽しみながら過ごしたいです。

期別活動

農大六期生同窓会

幹事 田野 敏規

平成二十二年十二月十二日、卒業三十年の節目の年に、二年間同じ釜の飯を食べた思い出の土地、本別温泉グラウンドホテルにて、遠くは木古内町、幌延町から、そして阿部先生に出席いただき総勢二十四名で同期会が開催されました。

五十歳という年齢で、髪の毛や、体型など変わった人もいてなかなか思い出せない人もいましたが、時間と共に話が弾み、三十年前にタイムスリッブしたみたいでした。

近況報告の中では、「孫がいます」、「子供が農大に在学中」とか、「農大を卒業して後継者として活躍中」、また「子供は女の子が三人です」というのが四、五人いました。報告を聞きながら驚きと笑いに包まれました。そして、

朝方まで楽しいひとときを過ごしました。

翌朝、様変わりした農大を見学させてもらい、またの再会を約束して別れました。

畜産三十三期生同窓会

幹事 中山 貴裕

三月十二日に、畜産経営学科第三十三期生の同期会が帯広市の平澤精肉店という店で開催されました。同窓会の





話は昨年の段階から持ち上がったままだったが、二月頃から本格的な要綱を決め、開催に至りました。店決めや予約などは自分

が行いまして、そのような経験が全くなかった自分にとっては、ごく新鮮でしたし、大人数の把握や連絡周知を手伝ってくれた方もいて、とても感謝しています。



東北大地震の翌日、北海道にも津波の被害を受けた地域があるにもかかわらず、十九人の同期生と先生が集まりました。それぞれの近況報告などをしあったりしてとても楽しい時間をすごせたと思います。その後の二次会では別の飲み屋に行ったり、三次会で夜遅くまでカラオケをやったりして、盛り上がりしました。

今回は僕が企画と運営をしましたが、また何年後かにもこのように盛大に集まって同窓会を開きたいですね。僕はもう企画しないよ。誰かやってよおく。

### 畜産三十五期生同窓会

幹事 谷川 和樹

平成二十三年四月九日に、畜産三十五期生の同窓会を開催しました。場所

は十勝川温泉の笹井ホテルで、忙しい中二十七名もの同期生が集まってくれました。

同期会は、皆久しぶりの再会で、ホテルに着いたときから話が盛り上がりしていました。一次会では食事をしながらそれぞれ仲の良い人と仕事の話などをして盛り上がりしました。二次会では酒を飲みながらピング大会をしました。ピングの景品は、一人一人がお菓子やお酒、地元の名産品などを持ち寄って行いました。皆どんな景品が当たるかわくわくしながらピングをしました。

酔いつぶれて寝てしまう人もいましたが、二次会が終わった後も、ほとんどの人が、町に行ったり、夜遅くまで飲んだり話したりして盛り上がりしました。次の日も、朝食を皆で食べに行き、最後まで別れを惜しんでいました。

今回の同窓会は、とても良いものになったと思います。自分は幹事として、皆に迷惑をかけてしまい反省しています。次に同窓会を開催するとき

は、今回以上に思い入れが作れるようにし、全員が参加してくれるように頑張りたいです。



## 事務局からのお知らせ

### 1 会費・寄付金の徴収について

今回の総会の結果、三年に一度徴収していた会費を、当面、集めないことになりました。なお、寄付金については随時、受付をしております。入金先は以下の通りです。

郵便振替口座 〇二七〇〇一五二五七二七  
加入者名 北海道立農業大学校同窓会

### 2 住所の変更について

引越等、住所が変更になった場合は、同窓会事務局までお知らせ下さい。会報の送付先を変更いたします。

### 3 支部活動・同期会の助成について

支部活動及び期別活動を計画された際には同窓会事務局までお知らせ下さい。諸経費の一部を助成します。活動の様子は、ホームページや会報等で紹介させていただきます。

### 4 「同窓生の広場」への投稿について

事務局では聖諭会報「同窓生の広場」への投稿を受け付けています。投稿される方は事務局までお気軽にご連絡下さい。

### 5 同窓会ホームページについて

同窓会ホームページには掲示板を用意しています。会員同士の交流の場として是非ともご利用下さい。

その他、支部会開催のお知らせ、開催結果、その他活動等について、ご要望がございましたらホームページにて紹介させていただきます。事務局までお知らせ下さい。

URL <http://noudai.sakura.ne.jp/>

メール: [nodai.kyomui@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:nodai.kyomui@pref.hokkaido.lg.jp)  
6 農業大学校・同窓会からのお知らせ  
農業大学校および同窓会では、卒業生のホームページの情報を待ちしております。ホームページをお持ちの方で、農業大学校・同窓会のホームページからリンクを張っても良いという方は、卒業年（および第〇期か）、学科、お名前、ホームページのURLを添えて、前項目のメールアドレスまでご連絡下さい。

## 編集後記

年末を控え、あわただしい日々が続いていますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。今年の聖諭会報をお届けします。▼本年の三月には同窓会の総会が開催されました。多数の方にご出席いただき本当にありがとうございます。▼今回の総会では二期にわたって会長を務められた若井和博氏に代わり、農大六期の津島朗氏が新会長に就任しました。これまでも同窓会運営を引っ張って来られた、若井元会長に感謝すると共に、今後は津島新会長の下、新しい気持ちで、同窓会の運営に取り組んでゆきたいと思っております。▼最後に亡くなりますが、東日本震災に方には、心より、ご冥福をお祈りすると共に、お見舞い申し上げます。  
(事務局)